

セミナーのお知らせ

第9回「異分野キャリアを持つ医療系生命科学研究者育成支援」事業セミナー

「コムギ無細胞タンパク質合成法が拓く次世代マラリア研究」

講演：高島英造 先生

愛媛大学プロテオサイエンスセンター
マラリア研究部門 准教授



日時

平成27年 **3月13日 (金)** 17:00 - 18:30

場所

医学部基礎研究棟 5階生化学セミナー室

熱帯・亜熱帯地域に広く分布するマラリアは、マラリア原虫により引き起こされる重篤な感染症であり、ハマダラ蚊により媒介される。現在、薬剤耐性マラリア原虫が世界中に拡散し、マラリア対策は困難に直面している。そこで、新薬の開発とともにマリアワクチンの開発が緊急の課題と考えられてきたが、未だ実用化されたものはない。マラリア研究は2002年に公開されたマラリア原虫ゲノム情報によって飛躍的に進むと期待されていたが、既存の方法による組換え原虫タンパク質の発現が著しく困難である事を理由に難航を極めていた。しかし近年我々は、当センターで開発された真核型組換えタンパク質合成法であるコムギ無細胞タンパク質合成法を利用することで、この技術的障壁を克服することに成功した。マラリア原虫の全5400遺伝子の約35%をカバーするマラリアタンパク質ライブラリーを作製することで、流行地の感染者が有する抗マラリア抗体のプロファイリングや、新規マラリアワクチン候補抗原の探索などを行っている。本講演では、これまでのマラリア対策の歴史から、最先端のマラリア研究までを概説する。

連絡先： 山田浩司 (生化学)

(TEL : 235-7125 Mail : hiroyama@md.okayama-u.ac.jp)

大学院生、ARTプログラム科目等履修生のみならず：

このセミナーは、博士課程授業科目の「研究方法論 (基礎・応用)」の授業に出席したとみなされる講演会」としてカウントすることが可能です。

出席記録簿を持参して、開催担当教授の押印を受けて下さい。職員・大学院生・学生、興味のある方はどなたでもご参加下さい。